

平成 31 年度うるま市「配慮を要する子」の保育を考える研修計画

うるま市の各保育施設に入所（園）しているすべての乳幼児が、よりよく成長していくためには、保育所（園）の職員全体の協力体制をつくりながら、計画的・組織的に取り組むことが重要であると考えます。

特に発達支援児・配慮を要する子については、一人ひとりの保育者が現在の子どもの発達の状態及び特性等について理解を深めるとともに、その関わり方についての知識と技能を高め、日々の保育を行うことと併せて保護者の思いを受け止め、親子への支援をより適切に行うよう努めることが求められています。そのためにも、保育施設の職員全体の協力体制はもとより、それぞれの立場において役割分担をし、組織の機能化を高めることが不可欠であると考えます。

そこで、平成 31 年度の「配慮を要する子」の保育を考える研修会は、下記の内容・日程で実施いたします。

1 目的

- (1) 気になる子の状態を理解し、保育においてより良い具体的な対応ができるような知識や技能を高める研修の充実を目指す。
- (2) うるま市内の各保育施設の園長及び主任、保育者等が一堂に会し内容の共有を深めると共に、継続的な支援体制の構築を高める研修の充実を目指す。

2 研修回数・方法・内容・実施日・場所等

- (1) 研修回数：5回
- (2) 研修方法：専門的な立場にある外部講師による講義、及び園長・保育者等による協議を行う。
- (3) 研修内容：理論、グループ協議
- (4) 場 所：本庁東棟 3F 大講堂

回	実施日	研修名	対象
1	6月18日(火) 14:00～16:00	【理論とグループ協議】 養育環境や発達面が気になる子に対する相談機関との連携について	園長 主任保育士 など
2	7月12日(金) 19:00～21:00	【理論】 思春期外来を通して伝えたい乳幼児期の育ちの重要性について	全施設職員
3	9月3日(火) 19:00～21:00	【理論】 気になる子をもつ保護者への支援について考える	全施設職員
4	10月25日(金) 19:00～21:00	【理論】 作業療法の視点を取り入れた支援体制づくりⅠ	全施設職員
5	11月5日(火) 14:00～16:00	【理論とグループ協議】 作業療法の視点を取り入れた支援体制づくりⅡ	全施設職員

3 その他

- *資料等の準備がありますので、申し込みの締め切り日までに連絡ください。
- *天候・会場その他の都合により、変更になる場合もあります。
- *150名に達し次第、締め切らせていただきます。ご了承ください。

4 連絡先

うるま市こども部保育幼稚園課 配慮を要する子巡回指導事業
TEL 098-973-5427 FAX 098-979-7026